

令和2年度 中学校「学習指導・評価計画表」 教科【技術・家庭（家庭分野）】 学年【2年】池田 純子

関 生活や技術への関心・意欲・態度
 創 生活を工夫し創造する能力
 技 生活の技能
 知 生活や技術についての知識・理解

月	単 題 元 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準 (B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
6	住生活の 自立	・住まいの役割 ・生活行為と住空間 ・安全で安心な住まい	関	安全で快適な室内環境の整え方と住まい方について関心をもって学習活動に取り組み、住生活をよりよくしようとしている。	安全で快適な室内環境の整え方や住まい方の課題を具体的に考えようとしている。	・観察 ・学習プリント ・定期テスト
			創	安全で快適な室内環境の整え方と住まい方について課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。	安全で快適な室内環境の整え方や住まい方について考え、家庭生活で具体的に実践できる方法を挙げ、家庭生活を工夫しようとしている。	
			技			
			知	住居の機能について理解し、安全で快適な室内環境の整え方と住まい方に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。	安全で快適な室内環境の整え方と住まい方の具体的な方法を理解している。	
7 ・ 8	食品の選 択と調理	・生鮮食品と加工食品 ・食品の表示 ・調理の流れと手順	関	食品の選び方について、関心を持って学習活動に取り組み、食生活をよりよくしようとしている。日常食の調理に関心をもっている。	生鮮食品において、旬を意識して食生活が送れている。食品が調理される過程に関心を持ち、調理の意義をふまえながら、作業手順を考えようとしている。	・休校課題 ・観察 ・学習プリント ・定期テスト
			創	食品の選び方について、課題を見つけその解決を目指し、工夫している。	収集整理した情報を活用して用途に応じた食品の選択について考え、工夫している。	
			技	食品の表示に関する情報を整理することができる。	身近な生活の中で、食品の表示やマークを調べ、情報を整理して食品の選択に生かすことができる。	
			知	生鮮食品と加工食品の特徴を知り、品質の見分け方について理解している。食品の選択における観点と、食品の表示の意味を理解している。	食品の特徴を理解した上で、食品の良否を見比べ、良いものを見分けることができる。食品の表示から食品の選択に必要な内容を読み取り、理解している。	
9	・食品添加物 ・食品の保存		関	食品の選び方について、関心を持って学習活動に取り組み、食生活をよりよくしようとしている。	加工食品に含まれる食品添加物を知り、食品選択の観点になるよう、食生活に生かそうとしている。	・観察 ・学習プリント ・定期テスト ・夏休みの課題
			創			
			技			
			知	食品添加物の用途と使用目的を理解している。食品の保存方法と保存期間の関係について理解している。	食品添加物の用途と使用目的を理解し、その内容を食品の選択に利用できる。食品の腐敗や食中毒の原因と関連づけて、保存方法について理解している。	